



平成 24 年 9 月 25 日

各 位

会社名 株式会社京三製作所  
代表者名 代表取締役社長 戸子台 努  
(コード番号 6742 東証・大証第1部)  
問合せ先 経 理 部 長 吉田 伸之  
(TEL. 045-503-8106)

## 平成 25 年 3 月期業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 24 年 5 月 10 日に公表しました業績予想を下記のとおり修正致しましたのでお知らせいたします。

### 記

#### 1. 第 2 四半期累計期間業績予想数値の修正

##### (1) 平成 25 年 3 月期第 2 四半期累計期間 連結業績予想数値の修正 (平成 24 年 4 月 1 日～平成 24 年 9 月 30 日)

(金額の単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A)	20,000	△1,500	△1,500	△900	円 銭 △14.34
今回修正予想 (B)	17,000	△3,900	△3,900	△2,500	△39.84
増減額 (B-A)	△3,000	△2,400	△2,400	△1,600	—
増減率 (%)	△15.0	—	—	—	—
(ご参考) 前期第 2 四半期実績 (平成 24 年 3 月期第 2 四半期)	18,753	△1,481	△1,471	△986	△15.72

##### (2) 平成 25 年 3 月期第 2 四半期累計期間 個別業績予想数値の修正 (平成 24 年 4 月 1 日～平成 24 年 9 月 30 日)

(金額の単位：百万円)

	売上高	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A)	19,000	△1,100	△700	円 銭 △11.15
今回修正予想 (B)	16,000	△3,500	△2,300	△36.65
増減額 (B-A)	△3,000	△2,400	△1,600	—
増減率 (%)	△15.8	—	—	—
(ご参考) 前期第 2 四半期実績 (平成 24 年 3 月期第 2 四半期)	18,015	△1,132	△717	△11.44

## 2. 通期業績予想数値の修正

### (1) 平成 25 年 3 月期通期 連結業績予想数値の修正 (平成 24 年 4 月 1 日～平成 25 年 3 月 31 日)

(金額の単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	62,000	4,000	3,700	2,000	円 銭 31.87
今回修正予想 (B)	59,000	1,900	1,800	1,000	15.93
増減額 (B - A)	△3,000	△2,100	△1,900	△1,000	—
増減率 (%)	△4.8	△52.5	△51.4	△50.0	—
(ご参考) 前期実績 (平成 24 年 3 月期)	58,483	2,166	2,222	850	13.55

### (2) 平成 25 年 3 月期通期 個別業績予想数値の修正 (平成 24 年 4 月 1 日～平成 25 年 3 月 31 日)

(金額の単位：百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	56,000	3,500	1,900	円 銭 30.28
今回修正予想 (B)	53,000	1,500	800	12.75
増減額 (B - A)	△3,000	△2,000	△1,100	—
増減率 (%)	△5.4	△57.1	△57.9	—
(ご参考) 前期実績 (平成 24 年 3 月期)	53,147	1,781	703	11.21

## 3. 業績予想の修正の理由

### (1) 平成 25 年 3 月期第 2 四半期累計期間の業績予想の修正の理由

売上高につきましては、電気機器事業において主力の産業機器用電源装置が引き続き低迷していることに加え、信号システム事業においても鉄道事業者の納期調整等により例年以上に第 3 四半期以降に集中することが明らかになったことから、前回発表値を下回ることとなりました。

利益面につきましては、両事業の減収に加え、信号システム事業の国内案件におけるコスト改善の遅れと海外案件に対する開発投資が引き続き先行することが明らかになったことから、営業利益をはじめ各利益ともに前回発表値を下回ることとなりました。

### (2) 通期業績予想の修正の理由

売上高につきましては、電気機器事業において主力の産業機器用電源装置が液晶パネル製造装置用の続落に加え、半導体製造装置用も回復の目途が立たず、大幅に減少する見通しとなったことから、前回発表値を下回ることとなりました。

利益面につきましては、電気機器事業の減収の影響が大きいことに加え、信号システム事業の海外案件に対する開発投資が通期にわたって増加する見通しとなったことから、営業利益をはじめ各利益ともに前回発表値を下回ることとなりました。

なお、配当につきましては、直近に公表している配当予想からの変更はありません。

(注) 上記の業績予想につきましては、現時点で当社が入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

以上